

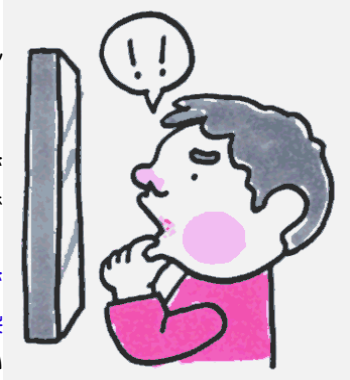
口唇ヘルペス

No.35

口唇ヘルペスとは・・・

あまり聞きなれない名前かもしれませんが、「熱の華」「風邪の華」と呼ばれることもあり、風邪で熱が出たり、疲れやストレスがたまって体の調子を崩したりした時に唇や口の周りに小さな水ぶくれのようなものができたことはありませんか？それが口唇ヘルペスです。

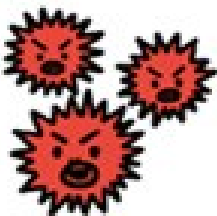
原因となるのはヘルペスウイルスの中の1つで**単純ヘルペスウイルス**といわれるものです。このウイルスはめずらしいものではなく、**60歳代以上の日本人ではほとんどの人が感染している**といわれています。又、**20歳～30歳代でもその半数が感染している**と考えられています。感染しても必ず症状が現れるわけではなく、感染に気が付いていない人もたくさんいます。ただやっかいなのはこのウイルスは「**潜伏感染**」するということです。潜伏中は症状はなにもでません。しかし、風邪をひいたり、体調が思わしくないなどの身体の抵抗力が弱くなった時などに暴れだすのです。



感染について

初めてウイルスに感染しても、小児の場合大きな症状がでる事は少ないが、新生児、幼児、思春期以降では症状がでることが多くなります。

昔は、子供の頃に親子間の接触で**初感染**するというケースが多く、こういう場合は大人になって発症しても免疫があるので軽症ですみますが、大人になってから初めて感染すると重症化することがあります。残念ながら最近では衛生状態の改善や核家族化の影響などにより**免疫を持っていない人が増えてきている**ようです。



症状について

初感染と**再発**の場合、体調の良し悪しにより症状は変わってきます。特に先ほど触れた**大人になってからの初感染**では、唇や口の周囲に5ミリくらいの水疱がたくさんでき、発熱、首の周りのリンパ節が腫れるといった重い症状がみられますが、**一般的な再発**では水疱も少なく比較的軽症となります。また、口内炎の症状が出る場合もあります。

- 症状1 皮膚にムズムズ、ヒリヒリ、チクチクといった違和感を感じるようになります。
- 症状2 症状1より半日くらいの間には赤く腫れてきます。**ウイルスの増殖が活発**におきている状態です。
- 症状3 1～3日後、腫れた場所に水疱ができます。この時に発熱などの全身症状がでる事もあります。この水泡はすぐに破れますが、**中から出た液を触るとウイルスがついてしまう**ので、すぐ手を洗いましょう。
- 症状4 1週間ほどでかさぶたになり、その後治ってきます。

治療について

潜伏しているウイルスを完全に体外へ出す方法は今のところありません。症状が出ている時に症状を抑える処置になります。主に**抗ウイルス薬**を使い、状況に応じて痛み止めやビタミン剤等を併用します。

単純ヘルペスウイルスは**感染力が強い**ので、症状の出ている時は次のことを注意しましょう。

- 1、直接患部をさわらない
- 2、タオルなどを共用しない
- 3、水泡はやぶらない

生活リズムを整えて抵抗力のある体を維持していけば再発は少なくなるといわれています。**バランスのとれた食事、適度な運動、十分な休息**を心がけて免疫力をアップさせていきましょう。



社団法人
柏歯科医師会

Http://www.kamukamu.or.jp

Email:kda@cc.rim.or.jp

